

中学生議員26人が登壇

中学生議員の素朴な質問に対し、市長・教育長ほか各部長等が親切、丁寧に答弁をしました。

白河南中学校 新図書館について



小出 大地

問 今の開館時間では平日に利用できないので、開館時間を長くしてほしい。また、何曜日が休館日になるのか。

答 新図書館の開館時間は、平日が午前10時から午後8時、土・日・祝日は午前9時から午後6時までの予定です。休館日は毎週月曜日と毎月第一水曜日及び年末年始の期間を予定している。

市の財政状況について



北條 誉志夫

問 県内13市の借金の比率についてと現在の市の借金はどれくらいなのか。

答 予算全体の中で今まで借金の返済に充てた金額の割合を示す比率は、平成20年度は白河市が22.3%。低い順から福島市7.8%、須賀川市10.8%、郡山市11.1%、いわき市11.4%、田村市13.1%、伊達市15.5%、南相馬市16.7%、会津若松市18.9%、二本松市19.6%、喜多方市20.1%、本宮市21.7%、相馬市23.2%である。

市の借金は、平成21年度末決算見込みで約335億1000万円。19年度と比較すると約23億6000万円の大幅な減少となり、安全な方向に動いている。

歩道の設置状況について



柳田 南

問 学区内の歩道の整備状況はどうなっているのか。また、今後の整備計画はどうなっているのか。

答 地元から要望のあった路線は、おおむね整備が進んでいる。例えば、南湖花文交差点からJR研修所手前交差点の区間、南湖ニュータウンから新白河ビジネスパーク内の県南酒販までの区間が完了している。学校南側の市道は、平成18年度から事業に着手し、今年度に国道294号まで完了する予定である。

今後の計画は、交通量、整備効果、緊急性など総合的に考慮し整備する。

大信中学校

都会からの企業誘致について



佐藤 聖

問 市の利点をアピールして企業誘致をしようかと思うが、現在、どのような方法で誘致を進めているのか。

答 白河市は東京から近く、新幹線や高速道路があり、温暖な気候で、土地やきれいな水があり、働き手も非常に勤勉であるといった企業を誘致する上で有利な条件がそろっている。そうした白河の優位性をPRし、固定資産税の一部免除といった優遇策を講じながら、企業を白河に誘致していきたい。



十文字議長

新しい図書館の周辺の活性化について



鈴木 芽生

問 新しい図書館の駐車場を旧市内での買い物客の無料駐

車場として開放してほしい。

答 市内の駐車場が少なく、買い物や観光できた方々が自由に使える駐車場が不足している。新図書館の駐車場を利用して買い物や観光客も利用してもらいたい。また、イベント広場の南側駐車場を整備する考えであるので、そこに車を置いて町の中に人が出歩くようにJR白河駅前界隈の活性化を図りたい。

東中学校

高校卒業までの医療費の無料化について



鈴木 慎吾

問 今後、高校卒業までの医療費の無料化を導入の予定はあるのか。

答 市では、今年度から小学6年生までの無料化に取り組んできた。これからの財政の見通しや他の状況、国の動向を見ながら、考えていきたい。

地球温暖化への取り組みについて



我妻 冬梨

問 地球温暖化防止のため、どのような取り組みをしているのか。

答 地球温暖化の防止は、世界をあげて取り組んでいかなければならぬ問題である。そういう中で小さいながらも一つずつ積み上げていくことが大事である。市では、スーパーや飲食店と協力しながらレジ袋や割り箸の使用量の削減に取り組んだり、市の施設では使用しているコピーの用紙や電気、ガス、水道等の使用量を減らしている。



賀屋 由布

問 なぜ、ごみ袋はそんなに

お金がかかるのか。(指定ごみ袋・大20枚入り1000円)

答 国内ではゴミ袋の有料化がどんどん進んでおり、白河市だけが特段高いと言えない状況となっている。燃えるごみ用の大袋の値段は、ごみ処理手数料として、処理費の約半分の800円が含まれている。

ゴミ袋代を理解してもらうために処理に要する費用等の内訳を表示するよう西白河地方衛生処理一部事務組合にお願いしている。



鈴木市長

東北中学校 景気対策について



鈴木 涼子

問 景気の低迷に対し、ど

のような対策をしているのか。

答 民間会社に元気がないときは、行政機関がお金を使い、お金を回すことが必要であり、市は様々な公共事業を進めている。また、雇用対策として63事業を実施し、223人を雇用した。本年度は58事業を実施し、170人を雇用する計画である。依然として雇用情勢が厳しいため、さらに国や県に雇用対策の追加事業を要望している。

駅付近の発展について



三浦 詩織

問 「えきかふえ」は、どの世代をターゲットにしているのか。

答 ドリンクメニューのほかランチメニューなどを取り入れる一方、中学生から大学生までの飲み物を100円引きにする学割を実施するなど、多くの世代をターゲットとした取り組みを行っている。今後、さらに多くの方々に利用した

だけの施設になるような必要な改善を図る。

B級グルメによるまちおこしについて



堀越 李紗

問 白河の「B級グルメ」について、現在あるとすれば、どのようなものか。また、ないとすれば、今後開発する予定はあるのか。

答 全国でいろんなイベントが開催されているが、その中心はやはり「食」である。B級グルメという普段の食生活にあるもので考えれば地域おこしには大変有効な策である。白河ラーメン、白河蕎麦、あるいははだるまバーガーなど白河の農産物を使用したB級グルメが出てくることを期待するとともに、白河でもB級グルメに参加できるようにものを作っていきたい。



表郷中学校 高齢者が生き生きと暮らせるための対策について



角田 祐輝

問 老人ホームにいる高齢者と幼稚園児や小学生などの若い世代の人との交流を実施してはどうか。

答 今年度から高齢者の方々が歌を唄ったり、ゲームをしたり、幼稚園児と触れ合いながら元気を増進する事業を行っている。提案のとおり、高齢者と若い世代が触れ合える機会を、さらに増やしていきたい。

街灯の設置について



楳川 正

問 表郷地域の中野、内松、八幡方部の街灯を設置してほしい。

答 新規設置は、地元町内会からの要望により、歩行者の安全性を基本に考え、小中学校の通学路や緊急性の高い箇所を優先して設置している。指摘された方部の街灯の設置要望は、内松地区の1カ所であるが、意見を尊重し各町内会長と協議をしたい。

少子化対策について



根本 有子

問 小学6年生までの医療費無料化を中学3年生まで引き上げてはどうか。

答 医療費の無料化は、昭和48年10月以来、段階的に対象年齢の拡大を図ってきた。

本年7月から小学6年生まで引き上げたところであり、今後、利用状況や市の財政を考え、さらなる対象年齢の拡大の可能性を判断していく。

中学生議員 熱井

白河第二中学校 公共事業について



佐藤 喜治

問 みさか小学校前の坂を下りた「やざわ薬局」のさらけ下の道路の工事の種類は何か。

答 市道に下水管路の埋設を行う下水道工事である。車や歩行者の通行に支障がない範囲で暫定的に復旧をしている段階で、年内に凸凹部分を取り除き、新たに舗装するもので、下水道工事と道路工事を連続して行っている。

中心市街地活性化について



杉村 美香

問 図書館を駅前につけても遠くの県から来るようなメリットのある施設内容が備わっているか。また、図書館は駅周辺の中心市街地の活性化に

役立てられるのか。

答 3年前に中心市街地活性化計画をつくり、どのようにしたら人が集まるのだろうかという様々な方々と議論してきた。その結果、国から県内初となる認定を受け事業を進めているが、図書館建設もこの中に含まれている。図書館は、いろいろな人が集まってくる場所であり、人が交流する場所になると考えている。利用された方が、街の中で買い物したり、飲食したりすると考えている。



伊藤教育長

校舎の建て替えについて



根本 卓

問 白河第二中学校の建て替えは、考えているのか。

答 白河第二中学校は、築38年を経過し、老朽化が進んでいる。敷地が不整形で校庭が狭いなどの問題もあり、その解消も含めて計画的に検討していきたい。

少子化対策について



矢内 千尋

問 子を持つ親に対し、もっと安心できるような対策はとられているのか(15歳までの医療費無料であったり、夜間診療できる病院を増やすなど)。

答 医療費無料化は利用状況や市の財政を考え、対象年齢拡大の可能性を検討したい。子どもの急患に対応できる医療体制は白河医師会の協力のもと、白河厚生総合病院に開設しているが、さらに安心できる医療基盤整備に取り組みたい。



地域の活性化について



千葉 美遥

問 映画館があれば大きな経済効果が見込まれ、人が集まり活気のある街になると思いますが、どうか。

答 映画館の経営は難しく、人口の多いところに集中しているが、映画館は人を引きつける魅力のある施設である。中心市街地の活性化の一環として、映画館があれば、映画や映画館を通して、新たな出会いや感動があることが期待でき、映画館のある街づくりを目指してがんばりたい。



白河中央中学校 図書館の活用について



高木 孝亮

問 新図書館が開館した後、現在の図書館をどのように利用していく考えなのか。また、現在の図書館の本や資料を全て新図書館へ持っていくのか。

答 市民会館の補助施設として利用することも考えられるので、補修費用や利活用が可能なのかなど、いろいろな角度から検討していきたい。また、現図書館の蔵書については、原則として新図書館に移行する予定である。

商店街の活性化について



鈴木 李英

問 商店街にもっと市民が集まれるようにするために空き店舗に新しい店を入れたり、

人びとのふれあいの場に活用できないか。

答 出店者に対し数年にわたって一定の家賃を助成しながら、その経営をバックアップする「空き店舗補助制度」を継続し、より多くの店舗がオープンできるように支援をしたい。その結果として人々が寄り集まり活気ある地域にしていきたい。

薬物乱用防止の対策について



室井 絵里

問 薬物乱用の現状について伺う。また、薬物乱用防止のため、どのような対策をとっているのか。

答 白河警察署管内は、いわき・郡山署に次いで薬物使用が多い地域といわれている。小中学校の授業や、学級活動の中で薬物の怖さやその誘惑に負けない心構え等指導している。また、県と協力を交しながら、薬物乱用の実例を交

えた講演会を開催するなど、成人を含めた防止対策を行っている。

農業の活性化について



角田 千春

問 農作物の生産率をあげるために、何を行っているのか。また、農業従事者や農業後継者を増やすために、どのような取り組みを行っているのか。

答 一つの集落を農場とし、集落の人々が協力し合い農地を共有化して生産性を上げていくという集落営農が大変有効である。これを育成するために「しらかわ型集落営農育成事業」を実施している。また、今年度から新たに「がんばる後継者支援事業」や「しらかわ農業未来塾」を立ち上げる等、後継者を増やす事業に取り組んでいる。



道路の混雑について



邊見 みずほ

問 現在の道路は狭いのに通学路となっているところが多いため、どのような対策を行っているのか。

答 道路の拡幅事業や事故の多い交差点の解消を目的とした交差点改良事業を計画的に実施している。また、道路の拡幅が困難な箇所については、側溝に蓋掛けをし、道路の幅員を広くとるなど、混雑を緩和する対策を講じている。

五箇中学校 ごみ問題について



仁科 塁

問 ごみ問題についてはどのような対策を行っているのか。

答 スーパー等のレジ袋を有料にしたり、飲食業組合では割り箸の使用を削減するなど、ごみの減量化を図っている。さらに、新聞や空き缶等のリサイクルできる資源を収集している団体に市が補助金を交付するなどしてリサイクルを推進している。

エコロジーの取り組みについて



齋藤 芽生

問 エコロジーについて現在のどのような方策をとっているのか。また、今後の予定はあるのか。

答 エコロジーを普及する広報活動として、広報白河に「エコライフ・スローライフのすすめ」と題して、暮らしに役立つエコロジー情報を紹介している。今後の予定は、太陽光発電・風力発電といった自然のエネルギーを活用した計画も進めていきたい。